

# 玉川温泉

Tamagawa Onsen  
(埼玉県ときがわ町)



今回紹介するのは玉川温泉である。玉川と言えば東京かと思いきや、埼玉県ときがわ町の玉川である。この温泉の売りは「昭和レトロな温泉銭湯」。建物前には古い三輪自動車や丸形の郵便ポストが置かれ、エントランスには古い自転車、ミシンなどが置かれている。フロントの奥を見れば、そこら中に昭和の香りがする物品、ポスター、看板などが並んでいるではないか。売店には駄菓子やサイダーなど懐かしいものもある。

ただ、昭和の気分に浸りければ、普通に古い銭湯へ行けばよい。ここはテーマパークだと割り切ったほうが良いだろう。それもそのはず。レトロなのはエントランスから廊下まで。脱衣室から先は普通の温泉と同じだ。

脱衣室にはコインのいらぬロッカーが70個。他に脱いだ物を入れる籠も25個ある。洗面台は2個、ドライヤーは4個ある。アメニティーとして、乳液と化粧水もある。

浴室は珍しく左右対称になっている。脱衣室から浴室への出入口は2か所あり、それらの出入口に挟まれるように中央に洗

い場が12か所、洗い場の両側に内風呂がある。洗い場にはリンスイシャンプーとボディーソープが具備されている。

内風呂は両側を合わせると定員30人くらいだろうか。湯温はややぬるめだ。露天風呂は定員14人くらいの石貼。正面にテレビがあるので、皆テレビに向かって湯に浸かっている。湯温は適温だ。

露天風呂の水面には白いごみのような浮遊物がある。玉川温泉によれば、これは温泉の成分が泡になったものとのこと。強アルカリ性の泉質とあって、湯船に身を沈めた途端、肌の表面がぬるぬるした感じになる。尚、玉川温泉にはサウナ、水風呂はない。また、女湯には泥パックがあるようだ。

入浴後は読書をするか、食事をするかの選択肢がある。読書スペースはリクライニングチェアが6個、

ソファが4個あり、2段ベッドのようなスペースには8人が寝ころべるようになっている。さらに2個のマッサージ椅子があり、屋外には3個のハンモックまである。このスペースにある雑誌の数はおよそ100種類以上。漫画も200冊くらいはありそうだ。一方、休憩場所となる広間が1階と2階それぞれに1か所ずつあり、厨房前で食事を注文したら、どちらのスペースで食べても構わない。お勧めはひもかわうどんだ。

ちなみに玉川温泉の湯はアルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性低温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

玉川温泉の周囲は田舎である。しかし、かなりの数の客で賑わっていた。初めて訪れる人には昭和レトロの雰囲気、リピーターにはお肌がぬるぬるになれる湯が人気を呼んでいるのかもしれない。

## DATA

名称	玉川温泉
所在地	埼玉県比企郡ときがわ町玉川 3700
電話	0493-65-4977
営業時間	平日 10:00~22:00、土日祝日 5:00~22:00（最終受付 21:30）
定休日	無休
入浴料	

	平日		土日祝日		
	10:00~20:00	20:00以降	8:00~20:00	5:00~8:00	20:00以降
大人	800円	420円	850円	600円	420円
小学生	400円	200円	400円	300円	200円
未就学児	200円	100円	200円	100円	100円

サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2018年4月30日（月）
取材	銭湯愛好会東京支部